



れんげ畑

鴻巣市立鴻巣中央小学校
令和3年2月号

学校教育目標
キャッチフレーズ
ホームページ

【知】友と学ぶ子 【徳】心の豊かな子 【体】体をきたえる子
「はきはき・にこにこ・きびきび」
<https://kochuo-e-konosu.edumap.jp/>

児童数372人

寒くてもホッコリしましょう

校長 清水 励

2月になります。2月3日は立春で、暦の上では春の始まりですが、まだまだ厚手の上着が必要な日々が続いております。

さて、新型コロナウイルスに関する緊急事態宣言の発令を受け、様々な活動の制限と行動自粛が促されておりますが、感染拡大になかなか歯止めが利かない状況となっております。感染拡大の一つの要因とされる「サイレント・キャリア（無症状感染者）」というものがおりますが、昨今の医療の十分な受入れが難しくなりつつあるこの状況においては、感染しても多くの人が重い症状にならないこのウイルスの特性は、もしかすると幸いなことなのかもしれません。私事ですが、アメリカに住む一つ年上の姉と19歳の姪が、新型コロナウイルスに感染しましたが、10日間の自宅療養を経て回復に向かっており、現在いたって元気との知らせがあり、ホッと一安心しております。

新型コロナウイルスの子供たちへおよぼす影として、感染すること自体の心配もありますが、子供たちの心の面への影響が心配されるます。子供たちは、日々、テレビや新聞などのニュースから流れてくる感染症に関わる「暗いニュース」を目や耳にしています。もちろん受け入れなければならない事実もありますが、心の成長の途中にある子供たちが、「過去最多の感染者」「〇〇人死亡」「医療崩壊」など、先行き不安な言葉ばかりに毎日繰り返し触れることは、できれば避けるべきことではないかと思われまます。

学校では、行事や行動の制限等のせざるを得ないことが多くありますが、今だからこそ子供たちが「安心して気持ちを共有できること」「心から楽しんで笑えること」を、大切にしながら教育活動に取り組んでまいりたいと考えております。大きな行事等の実施は難しいかもしれませんが、普段の授業や休み時間などの日常の学校生活の中で、これまで以上に子供たちの心がホッコリする機会を大切にしていきたいと思います。そのためには、まず私たち大人が、多少の心配を抱えつつも「武士は食わねど高楊枝」の気概をもって、子供たちには常に明るい笑顔で接することを心がけ実践してまいります。各御家庭におかれましても、家族での団欒、家族で笑い合える一時を、これまで以上に大切にしてお過ごしいただければと思います。

笠原小学校の廃止を受けて

12月の鴻巣市議会でも市条例が改正され、笠原小学校は、令和4年3月末に廃止されることとなりました。現在、鴻巣市小・中学校通学区域審議会において、鴻巣中央小の学区見直しについて話し合いを進めており、現在の笠原小の児童たちが鴻巣中央小に通う方向で検討しております。学校では、令和4年度の円滑なスタートに向けて、今後、笠原小との交流事業等を行う予定でいます。新しい友達が、たくさん増えること、とても楽しみにしています。